

令和元年度 科目名 (生活と福祉)

1 対象年次、単位数、使用教科書
2～4年次(選択) 3単位
準教科書：生活と福祉(実教出版)

2 科目の目標
「高齢者福祉」を中心に生涯にわたる健康と生活の管理及びそれを支える社会保障・福祉制度についての基本的なことがらについて学習する。

3 評価規準(何を評価するか)
健康と生活の管理及びそれを支える社会保障・福祉制度について基本的なことがらについて理解できているか。

4 評価基準(どんな方法で評価するか)
右記レポート内容の標準的な部分まで理解できている場合、また発展的な部分まで学習できていると判断される場合において、その理解度に応じて評価する。基本的な部分のみが理解できている場合、または、基本的な部分も理解できていない場合は再提出とする。なお、標準的・発展的な部分でさらに理解を深める意味から再提出する場合もある。

5 試験範囲と試験による評価基準
R1～R3の範囲で7月試験、R4～R6の範囲で10月試験、R7～R9の範囲で1月試験を実施。なお、29点以下については再試験とする。
再試験を繰り返してもなお基準点(30点)に達しない場合は単位認定しない。

6 スクーリングの目標・内容・計画
スクーリングは生徒の質問に個別に対応しつつ、実習を通じて学習の内容の理解を深めさせる。実習などのスクーリングに取り組む姿勢を考慮し、学年末評価の参考資料とする。

シラバス(学習内容、年間指導計画および評価規準・評価基準)

R	項目	内容	教科書	時期
1	第1章 人の一生と生活・健康 1節 健康の概念 2節 ライフステージと健康管理	高齢化社会における健康とQOLや健康に影響をおよぼす要因について知る。	6～31	5月中旬
2	第2章 高齢者の現状と高齢者の特徴 1節 高齢化の現状 2節 高齢者の心身の特徴と病気 3節 高齢者の生活課題と施策	高齢化社会の現状と高齢者の心身の特徴を知り、生活課題と施策について考える。	32～51	6月上旬
3	第3章 高齢者の自立生活支援 1節 自立生活支援の基本となる考え方 2節 高齢者介護	自立生活支援の基本となる考え方を理解し、地域の役割を知る。	52～69	6月下旬
4	第4章 高齢者支援の法律と制度 1節 社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ 2節 介護保険制度 3節 高齢者支援と地域包括ケアシステム	日本の社会制度や社会福祉制度について理解する。地域包括ケアシステムの移行と意義について考える。	70～93	7月中旬
5	第5章 介護・看護の実習と生活支援 1節 介護の実習	歩行介助、車椅子の介助、食事、体位変換などについて実践できるようにする。	94～112	8月下旬
6	第5章 介護・看護の実習と生活支援 1節 介護の実習	ベッドメイキング、衣服の着脱、清潔、排泄の介護などについて実践できるようにする。	113～133	9月中旬
7	2節 看護の実習	家庭看護の意味を理解し、骨折、低温火傷、脱水、熱中症、糖尿病、高血圧などの看護について知る。	134～157	10月中旬
8	3節 生活支援	生活支援の考え方を理解し、さまざまな支援が実践できるようにする。	158～175	11月上旬
9	3節 生活支援 演習	高齢者施設について情報収集をし、理解を深める。介護室をレイアウトする。	176～179	11月下旬